

福井工業大学 大学院学位論文審査基準

大学院工学研究科 応用理工学専攻

●博士前期課程

学位申請者が提出した修士論文は、本専攻の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、主査1名及び副査2名以上の委員で構成される審査委員会により以下の項目について審査される。修士（工学）の学位の授与は、構成員の4分の3以上が出席する工学研究科委員会において、審査委員会より提出された論文審査及び最終試験の結果に基づいて審議した後、出席者の3分の2以上の賛成をもって決議する。

【審査項目】

1. 論文は学位申請者が博士前期課程において行った研究内容を、申請者自身が取り纏めたものであること。
2. 論文全体にわたって論理が明確で一貫性があり、学術論文として適切な表現を用いて序論から結論に至るまで明瞭に記述されていること。
3. 先行研究を十分に調査した上で、研究の背景及び位置づけが明確に示され、適切に参考文献が引用されていること。
4. 研究内容に独創性、新規性があり、工学の各分野における学術的な意義を有していること。
5. 研究の成果は工学の各分野における適用性、有用性、並びに十分な社会的意義を有していること。
6. 研究は研究コンプライアンスに則った適切な方法で行われ、理論、実験、シミュレーションなどの手法等が明確かつ具体的に示されていること。
7. 研究の内容は工学倫理並びに社会的な規範に則ったものであること。

●博士後期課程

学位申請者が提出した博士論文は、本専攻の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、主査1名及び副査2名以上の委員で構成される審査委員会により以下の項目について審査される。博士（工学）の学位の授与は、構成員の4分の3以上が出席する工学研究科委員会において、審査委員会の報告に基づいて審議した後、出席者の3分の2以上の賛成をもって決議する。

【審査項目】

1. 論文は本研究科の教員の指導のもとで、学位申請者が主導的に行った研究内容を申請者自身を取り纏めたものであること。
2. 論文は研究の当該分野において高い評価を受けた学術的な内容と価値を含むものであること。
3. 論文全体にわたって論理が明確で一貫性があり、学術論文として格調のある適切かつ明確な表現を用いて、結論の導出に至る論理の展開が合理的かつ具体的に示されていること。
4. 論文の課題に関する類似の研究や先行研究について十分な調査を行い、論文の研究内容が新規性、独創性を有することを明示するとともに、十分な参考文献が適切に引用されていること。
5. 研究の当該分野においての背景、意義、目的が明確に示され、その社会的意義が明らかとなっていること。
6. 研究は研究コンプライアンスに則った適切な方法で行われ、理論、実験、解析、調査などの手法等が明確かつ具体的に記述されていること。
7. 研究内容が研究者倫理並びに社会的な規範に則ったものであること。

以上